

2024 年シーズン強化方針

(2000m エルゴタイムトライアル 2 回目 2 月の実施期間変更に伴う【更新】 11 月 27 日)

はじめに

2024 年シーズンは、「2024 年パリオリンピックローイング競技（以後 パリ大会と略す）に向けた強化」と「2028 年ロスアンゼルスオリンピックローイング競技（以後 ロス大会と略す）に向けた準備・スタート」の 2 つの要素が存在している。2023 年ローイングワールドカップ II でのメダル獲得、さらに、世界ローイング選手権にてオープンカテゴリーでのオリンピック出場枠獲得、また、女子スweepカテゴリーでの新たな可能性の発見など一定の成果が確認できている。パリ大会に向けては、メダル獲得及び上位進出という目標達成と同時に、アジア大陸予選、世界最終予選で 2 種目以上の出場枠を獲得し盤石な体制で強化を推進する。

また、同時に、にロス大会向け次世代のオリンピック選手を育成するシーズンでもあり引き続き「パリオリンピックに向けた基本的な考え方」（JARA 発 2021-166 号 2021. 10. 27 付）及び 2023 年強化活動総括に基づき、以下の通り推進する。

Vision

競技力、普及、ガバナンスの全ての面で世界の強豪国となり、世界レベルでの大会における Final A 進出を目指し、シニア A 代表についてはパリ大会への出場権獲得済みである男子シングルスカルの万全な強化を行う。また、アジア大陸予選、世界最終予選での 2 種目以上の出場枠の追加獲得を目指し、最終的な目標であるオリンピックでのメダル獲得へ向けてパリ大会で Final A 進出を目指す。同時に、既に軽量級カテゴリーのロス大会からの種目除外が公表されていることから、オープンカテゴリーの次世代選手の強化・育成に繋がるようシニア B・C 代表、U23・U19 カテゴリーの継続的な強化を推進する。

また、タレント発掘育成事業を強力に推進することで次世代のオリンピック選手の育成を行う。

Mission

- (1) 強化メソッドの浸透と継続的なトレーニングの実施
- (2) スweep種目を含むオープン種目の強化
- (3) 組織力の強化
- (4) U23、U19 世代の育成及び強化
- (5) 国際大会への積極的な選手派遣

Objectives

(1)-1 日本代表選手及び所属団体における強化メソッド実施

選手育成・強化のためには、同じトレーニングを継続的に行うことが近道であり、2021年開催の東京オリンピック後から積極的に日本代表選手及び所属団体とトレーニング方法（強化メソッド）の共有を図ってきた。2023年シーズンでは、切れ目のない強化活動、次世代指導者育成、未来のナショナルコーチ育成の観点からサポートコーチ制度を導入し、強化合宿のみならず大会等の遠征にも派遣した。また、代表チームと所属団体との密な関係構築を目的に定期的な全体ミーティングや個別ミーティング等も実施し方針、進捗の共有を行った。2024年シーズンもサポートコーチ制度を継続し、強化合宿中に代表チームのコーチと所属団体のコーチが議論を重ねることで、日本チームにフィットしたトレーニング方法を確立し、共有することで更なる競技力向上を図る。

(1)-2 代表チームの識別

国際競争力向上に不可欠である選手・コーチ等の国際経験を積む機会を創出することを目的に『シニアカテゴリーのナショナルチームの考え方』（2023年3月11日 JARA 発 2022-418号）を整理した。

2024年シーズンはパリ大会、世界ローイング選手権を視野に入れたA代表。次世代強化を目的とした欧州等におけるインターナショナルレガッタやアジアローイング選手権を対象とするB・C代表とナショナルチームを識別し強化を推進する。

特にB・C代表については各所属団体とのコーチ派遣、費用面についても協議し国内大会スケジュールなども加味しながら選手の育成レベルにあった大会派遣を検討する。

(2)-1 オープン、スウィープ種目強化事業

2024年シーズンにおいては、パリ大会ならびにその出場権獲得がかかるアジア大陸予選、世界最終予選の強化を最優先したい。特に選手選考後の2024年4月～5月については大会に向けた選手のコンディショニングを考慮しシニアカテゴリーを①：『既にオリンピック出場枠を獲得した男子シングルスカルと世界最終予選を目指すグループ』と②：『アジア大陸予選からのパリオリンピックを目指すグループ』の2つのグループに分けて取り組む。各大会でベストパフォーマンスを発揮できるようコーチ体制を構築する。

また、ロス大会以降の日本代表選手育成のための事業として次世代強化・育成選手強化を行い、さらなるオープン種目、スウィープ種目の強化を図りたい。この世代の選手層を厚くし、国際大会への参加を支援することで、次世代のオリンピック日本代表選手の育成を行いたい。

(2)-2 オープン種目におけるアジアの強豪国を目指す

オープン種目においては、2023年アジア競技大会ローイング競技の結果からも中国などのアジアの強豪国の後塵を拝しているのが現実である。世界へチャレンジする機会を増やし、B・C代表における国際大会への派遣を積極的に実施することで、世界及びアジアのレベルを実感することで選手のモチベーション向上を促せるようサポートしたい。

(3)-1 サポートコーチ制度の更なる拡充

これまで選手一人一人への代表チーム及び所属チームにおける継続的なサポート体制の構築を目指しサポートコーチ制度を運用し、次世代指導者育成の機会を創出してきた。

2023年シーズンは、各サポートコーチにおいては、シニアコーチの下、冬季の国内合宿で活動し、強化メソッド等の方向性を共有しながら、国際大会へ帯同していただいた。活動実績等を踏まえ3名のサポートコーチを2024年も継続させていただきたい。また、ナショナルチームと所属の切れ目ない強化活動の観点では新たなサポートコーチの募集も行う予定である。

加えて、サポートコーチの指導力を高めるために可能な限り指導機会を設け、本制度をよりよく運用できるよう取り組んでいく。

(3)-2 選手のコンディションに対する所属チームへのフィードバック

所属団体に対しての選手のコンディションのフィードバックを継続的に取り組んでいるが、2024年も所属団体と連絡を密に取り合い選手の競技力向上に繋げていきたい。

(3)-3 協会内組織連携

日本ローイング協会内には選手支援に関連する様々な部署がある。アスリート委員会、医科学委員会、パラローイング委員会などがそれに当たる。それらの委員会との横断的な連携により、選手にとってより快適なチーム環境を構築できると考えている。

特にアスリート育成パスウェイの整理にむけスポーツ庁、日本スポーツ振興センターが示す方針等を参考にしながらローイング版アスリート育成パスウェイの構築を企画・戦略委員会、普及委員会、指導者育成委員会、広報委員会等と連携し取り組みを展開していく。加えてロス大会で新種目となるコースタル種目については、今後の強化推進体制などもコースタル委員会等と連携し検討する必要性がある。

(4)-1 継続強化

ロス大会以降の代表チームにおける強化を考えた際、これまでのタレント発掘・育成事業の継続が重要である。U19世代でのタレントの発掘を継続し、高身長、高フィジカルな選手の発掘を引き続き目指す。U23カテゴリーまで育成した選手をスムーズにシニア世代につなげることは、協会にとって、最も難しい課題である。タレントとして活動するU23世代の選手へのサポートを拡充させ、シニア、メダルポテンシャルアスリートとなるまで、タレント育成事業としてサポートを行いたい。また、シニアカテゴリー内

でも昨年度メダルポテンシャルアスリート制度（以下 MPA 制度とする）の見直しを図った。

2024 年以降も MPA 制度でのハイパフォーマンス領域へのサポートならびにシニア B・C 代表制度などでは選手選考後も海外レース出場機会の創出や年間通しての国内合宿などで強化メソッドの継続などを目的に強化を図っていききたい。

(4)-2 所属団体との定期的なミーティングの実施

現在、シニアカテゴリーにおける所属団体とのミーティングは定期的の実施できており、ナショナルチーム活動の理解促進に繋がっている。2024 年シーズンも継続して実施するとともに、U23 カテゴリーの活性化に繋がるよう大学カテゴリーとのコミュニケーションも深めていきたい。とはいえ、代表チームからの発信の多くは、公平性を期すため、Web 上での発信が中心となっており、十分な意志の伝達が出来ていない。各大学の代表者が所属する大学連盟との定期的なミーティングを実施することで日本代表チームにおける発信を全国の大学チームへ繋げられるよう努力したい。

(5)-1 アジアローイング選手権

現在、アジアローイング連盟にて 2024 年アジアローイング選手権の開催地等の調整が図られているが本大会には次世代選手の国際レース経験ならびにアジアにおけるプレゼンス確立のためシニア B・C 代表を中心に派遣することを想定している。

(5)-2 国際レースへの積極的派遣

国際的なレースは、選手を育成するために重要なイベントであることは間違いない。同時に、選手個人、日本チーム全体の世界におけるランキングを明確にし、次世代育成を計画するためにも重要なイベントでもある。国際レースへの派遣に関しても積極的に行っていきたい。

強化活動計画について

- (1) 前項の強化方針に基づき、日本代表候補選手のプロセスについては、2023年11月からの強化合宿及び2024年2月のSmall Boat Selection及びその評価レースに関しては、下表の通り実施する。
- (2) 2024年3月以降は選抜された日本代表候補選手を対象に、派遣する国際大会のスケジュール（現時点ではA代表：オリンピックローイング競技、世界ローイング選手権、ローイングワールドカップ I、II及びIII、B・C代表：ローイングワールドカップII、インターナショナルレガッタ、アジアローイング選手権など）を勘案しつつ、強化合宿（含む、海外）を計画する。
- (3) なお、選考方針、毎月の各イベントの実施要領等については、確定の都度、通知する

【シニア】

事業	場所	期間
12月合宿	戸田ボートコース	12月4日(月)～12月22日(金)
12月エルゴTT	各団体・個人	12月16日(土)～12月24日(日) ※記録等は12月25日(月)までに JARA事務局宛てご提出いただく予定です。
1月合宿	戸田ボートコース	1月8日(祝・月)～1月26日(金)
2月エルゴTT	各団体・個人	1月29日 日 27日(土) ～2月4日(日) ※記録等は2月5日(月)までにJARA 事務局宛てご提出いただく予定です。
2月合宿	戸田ボートコース	(スweep) 2月6日(火)～ 2月28日(水) (スカル) 2月10日(土)～ 2月28日(水)
SBS予選	戸田ボートコース	2月15日(木) 予備：2月16日(金)
SBS本戦	戸田ボートコース	2月26日(月)～2月28日(水)
3月合宿	戸田ボートコース	2月29日(木)～3月14日(木)
評価レース	戸田ボートコース	3月5日(火)～3月6日(水) 予備日：3月12日(火)～ 13日(水)
強化合宿	未定	未定(4～8月を予定)
ローイングワールド カップ I	バレーゼ・ イタリア	4月12日(金)～14日(日)
アジア大陸予選	韓国・忠州	4月19日(金)～21日(日)
世界最終予選	ルツェルン・ スイス	5月19日(日)～21日(火)

ローイングワールド カップ II	ルツェルン・ スイス	5月24日(金)～26日(日)
ローイングワールド カップ III	ポズナン・ ポーランド	6月14日(金)～16日(日)
パリオリンピック ローイング競技	パリ・フランス	7月27日(土)～8月4日(日)
世界ローイング 選手権	セントキャサリン ・カナダ	8月18日(日)～25日(日)
アジアローイング 選手権	未定	日程は未定

【U23】

事業	場所	期間
12月合宿	戸田ボートコース	12月5日(火)～12月20日(水)
12月エルゴTT	各団体・個人	12月16日(土)～12月24日(日) ※記録等は12月25日(月)までに JARA事務局宛てご提出いただく予定 です。
1月合宿	戸田ボートコース	1月9日(火)～1月26日(金)
2月エルゴTT	各団体・個人	1月29日-27日(土)～2月4日(日) ※記録等は2月5日(月)までに JARA事務局宛てご提出いただく予定 です。
2月合宿	戸田ボートコース	2月10日(土)～2月28日(水)
SBS予選	戸田ボートコース	2月15日(木) 予備：2月16日(金)
SBS本戦	戸田ボートコース	2月26日(月)～2月28日(水)
3月合宿	戸田ボートコース	2月29日(木)～3月14日(木)
評価レース	戸田ボートコース	3月5日(火)～3月6日(水) 予備日：3月12日(火)～ 13日(水)
強化合宿	未定	未定(4～7月を予定)
World University Championships	ロッテルダム・ オランダ	7月4日(木)～6日(土)
U23ローイング 世界選手権	セントキャサリン・ カナダ	8月18日(日)～25日(日)

※予定は変更となる場合があります。